

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | | |
|---------------|--------------------------------|----------------|-----------|--|
| 事業所番号 | 1473600706 | 事業の開始年月日 | 平成16年6月1日 | |
| | | 指定年月日 | 平成16年6月1日 | |
| 法人名 | 有限会社 松田メディカルサービス | | | |
| 事業所名 | グループホーム しんばしの家 | | | |
| 所在地 | (245-0009) 横浜市泉区新橋町1515-2 | | | |
| サービス種別 定員等 | 小規模多機能型居宅介護 | 登録定員 | 名 | |
| | | 通い定員 | 名 | |
| | | 宿泊定員 | 名 | |
| | 認知症対応型共同生活介護 | 定員計 | 18名 | |
| | | ユニット数 | 2ユニット | |
| 自己評価作成日 | 平成22年10月17日 | 評価結果 市町村受理日 | | |

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| 法人内の訪問看護ステーションの看護師や往診医、ご家族などと連携をとり、また毎日、入浴を実施し、心身ともに健康に生活できるよう努めている |
|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------|---------------|------------|
| 評価機関名 | 社団法人 かながわ福祉サービス振興会 | | |
| 所在地 | 横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階 | | |
| 訪問調査日 | 平成22年11月18日 | 評価機関 評価決定日 | 平成23年1月27日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| <p>【事業所の概要】 このホームは相鉄いずみ野線緑園都市駅から徒歩約10分ほどの閑静な住宅街にある。建物は木造2階建てで、2ユニットの事業所である。1階と2階にはそれぞれ独立した玄関がある。内部は広くて明るいきらびやかな雰囲気があり、フロア全体が木造建築の良さを採り入れて、暖かみのある落ち着いた雰囲気を出している。</p> <p>【地域との関わり】 ホームの理念「利用者が求める生活に基づいた援助と環境づくり」と「利用者を支えるための地域づくり、社会づくりに必要な情報や提案の発信」に基づき、地域の町内会行事や新橋地区社会福祉協議会が開催する「ふれあいサロン」へ参加すると共に、運営推進会議では泉区の担当者や地域包括支援センター職員と意見交換や情報交換を行っている。また、泉区の施設会議を通じて同業者や介護、障害、保育等多岐にわたる施設とも連携をとり地域福祉の推進に貢献している。</p> <p>【終末期に向けた支援】 法人の代表者は看護師であり、ホームを利用者の終の棲家と位置づけ、ターミナルについて積極的に取り組んでいる。医療連携体制加算及び看取り加算の指定を受け、往診医の協力を得て、経営する訪問看護ステーションと連携し、自分も一員となって24時間体制でバックアップを行っている。看取りについて同意をした利用者は、安心してホームで終末を迎えることができる。</p> |
|--|

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|--------------------------|---------|---------|
| 理念に基づく運営 | 1 ~ 14 | 1 ~ 7 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ~ 22 | 8 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ~ 35 | 9 ~ 13 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ~ 55 | 14 ~ 20 |
| アウトカム項目 | 56 ~ 68 | |

| | |
|-------|----------------|
| 事業所名 | グループホーム しんばしの家 |
| ユニット名 | 木の実 |

| アウトカム項目 | |
|---|----------------|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25) | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38) | 1, 毎日ある |
| | 2, 数日に1回程度ある |
| | 3. たまにある |
| | 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |

| | |
|--|----------------|
| 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19) | 1, ほぼ全ての家族と |
| | 2, 家族の2/3くらいと |
| | 3. 家族の1/3くらいと |
| | 4. ほとんどできていない |
| 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19) | 1, ほぼ毎日のように |
| | 2, 数日に1回程度ある |
| | 3. たまに |
| | 4. ほとんどない |
| 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | 1, 大いに増えている |
| | 2, 少しずつ増えている |
| | 3. あまり増えていない |
| | 4. 全くいない |
| 66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12) | 1, ほぼ全ての職員が |
| | 2, 職員の2/3くらいが |
| | 3. 職員の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「利用者を支えるための地域づくり、社会づくりに必要な情報や提案の発信をしていきます」という理念を掲げ、地域交流や入居者へのケアにつなげている | ホームでは、理念の実現に向け地域との関わりを大切に、協力を得られるよう努力している。職員は入職時の研修や「理念に沿ったケア」とは何かを学び、ミーティング等で話し合っ共有し、日々の支援の中で具体的に実践している。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域のサロンなどへの参加を行っている。また入居者が入居前から通っていた美容院などを利用している | 町内会に加入し、地域の祭りや演芸大会などの行事に積極的に参加している。毎月開催される地域の「ふれあいサロン」に参加して、子どもやその母親、高齢者との交流を楽しんでいる。通学途中の小学生がいつでも駆け込める子ども110番にも加入し、地域の一員として協力している。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の会議などの出席や運営推進会議などを通して、認知症の方の障害についての知識や技術などについて少しずつ伝えている | | |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 介護業務に携わる私たち以外の方の意見を聞くことにより、偏った考えから脱却し、より普通のご家族等の立場に立った意見を頂戴し、参考にしている | 運営推進会議は3か月毎に開催している。事業所の現況報告の後で意見交換を行っている。年1回は、泉区のグループホーム全体で合同の運営推進会議を行っており、他のホームの状況を聞いたり情報交換を行って、ホームの運営やサービスの向上に反映させている。 | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | おもに運営推進会議を通して、介護保険以外のサービスなどについての情報をいただいている | 区の担当者には運営推進会議を通じて事業所の実情を伝え、事業所の課題等を相談し助言を受けるなどしている。また、新橋地区社会福祉協議会主催による泉区の施設会議が月1回行われている。その際、高齢、障害、保育の施設が一同に会するので情報交換しながら協力関係を深めている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をすることよりも入居者ご本人が「どうしたいのか」に答えるケアについて検討するように努めている | ホームでは、身体拘束排除や高齢者虐待防止法の研修を行って理解と共有をはかりサービスの場で実施している。日中は玄関を施錠せず、面会の家族や近隣の方が自由に出入りし開放的である。職員は常に利用者の所在を把握し、不意の外出にも対応できるように備えている。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部研修や内部研修を重ねて日頃のケアに活かすようにしている | | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 外部研修などに出向き、正しい知識を身につけ、必要があれば、その関係者と話し合うようにしている | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書を一緒に読みながら、気軽に質問していただける雰囲気づくりに配慮している | | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会の前には質問表をお渡しし、家族会で議題に挙げ、他のご家族とも共有する場を設けている | 家族会は、法人内のグループホームが合同で年1回開催し、他のグループホームの状況や情報の交換を行ったり、事業所毎に家族との意見交換を行ってサービスや運営に反映させている。また、玄関にアンケート用紙と投函箱を設置し、意見や要望を出せるように工夫している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | パート会議や運営会議、勉強会などの話し合いの機会をなるべく多く設け、提案などがあった場合には、なるべく早く答えを出して、申し送るようにしている | 管理者は、運営会議、ユニット会議、全体会議で話し合いの機会を設け、職員からの意見や提案を聞き取って運営に反映させている。実際に、職員からの利用者の行動に合わせた出勤時間の変更の提案を検討し、実行に移している。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員からの提案などがあった場合には、管理者と話し合いながら、なるべく早く答えを出すよう努めている | | |
| 13 | | 職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修には研修手当てを出すなどして職員一人ひとりのスキルアップが出来る環境づくりに努めている | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 代表者は、職員の経験などを考慮しながら、外部研修や他の事業所との交流の場への参加を促している | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前には必ず見学をしていただき、しんばしの家での生活について不安なことや要望などを具体的に話し合うよう努めている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族側からの入居に際しての率直な不安や要望を話していただけるような雰囲気づくりを心がけている | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居契約と同時に、短い期間でのケアプランを作成し、入居してからのご本人への具体的内容について説明している | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 食事作りや洗濯物たたみなど、ご自身なりの発揮できる場を理解して、助けていただいている | | |
| 19 | | 本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご本人、ご家族、職員が一つの目標に向かって役割分断できるように話し合っている | | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 入居者が入居前から通っていた美容院やサロンなどを継続して利用している | 昔の友人や知人の訪問時には気持ち良く過ごせるようお茶の接待をしている。さらに、電話や手紙、年賀状のやり取りについても支援している。地元出身の方には、新橋地区社会福祉協議会が開催する「ふれあいサロン」に参加していただき、馴染みの方とのふれあいを楽しんでもらっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 入居者同士で居室の行き来をしながら自由にホーム内を利用している | | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去したご家族からの介護に関する質問などを受けている | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日頃のケアの中から、ご本人のニーズを聞くように努め、記録に残し、ケアプランに活かすようにしている | 利用者の思いや暮らし方の要望は、アセスメントや日常生活の中で観察し聞き取っている。意向の把握が困難な方は、表情や行動を観察して思いを汲み取っている。また、法人の代表者が運営する訪問介護を利用していた方が多いので、在宅の頃からの資料も参考にして希望や意向の把握に努めている。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前の面接時の家の様子や普段の生活について、ご家族や担当のケアマネジャーに確認している | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 訪問看護ステーションの看護師や住居医と連絡をとり、心身の状況を把握している。同時にアセスメントの充実を外部研修などに参加するなどして強化している | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>ご本人に身体的、精神的な変化があらわれた時には、ご本人、ご家族、往診医や看護師にアドバイスをいただきながら、今後の方向性を示し、ケアプランを作成している</p> | <p>職員は日々のサービス提供中に利用者の会話や行動から本人の意向を把握するようにしている。介護計画は実施状況を記録し定期的にモニタリングを行い、職員会議で意見交換を行って作成している。本人や家族の希望に沿っているかを確認して同意を得ている。必要に応じて医師や看護師の意見も取り入れている。</p> | |
| 27 | | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>記録の重要性、必要性を勉強会などで話している。より一層のスキルアップに努めていきたい</p> | | |
| 28 | | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>法人内の人材、または同業者の他の施設、運営推進会議などで話をし、自分たち以外の人の提案やアイデアを参考にしている</p> | | |
| 29 | | <p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>運営推進会議などで介護保険以外のサービスなどの情報をいただきながら支援している</p> | | |
| 30 | 11 | <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>往診医の判断により、往診時の同席をお願いしている。また今後の方針についての要望をお聞きしている</p> | <p>協力医療機関の往診が月1~2回、歯科医の往診は週1回行われている。入居前からのかかりつけ医を希望する方は家族が付き添い受診している。受診結果については情報を受け取り個別のファイルに綴じ込み、情報共有できるようにしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-----------------------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | 常に連絡を取り合い、情報の共有と適切なアドバイスをいただいている | | |
| 32 | | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | 入院と同時に退院のタイミングや予後について、ご家族とともに説明を聞くようにしている | | |
| 33 | 12 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | (ご本人)、ご家族、医師、看護師、介護者、代表者で話し合いの場をもち、今後の方向性を決め、ケアプラン～具体的なケアにつなげている | 入居時に医療連携体制加算の同意を得ている。看取りに関する方針について本人及び家族に説明している。希望により看取りを実施する場合は看取り介護加算の同意書を取り交わしている。職員は看取りの経験があり、研修を行ってさらに研鑽を積んでいる。往診医の協力や訪問看護による24時間のバックアップがあり、看取りの体制が整っている。 | |
| 34 | | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | 外部研修、内部研修などで確認している | | |
| 35 | 13 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | 年2回の訓練を行うとともに、地域の災害訓練にも参加している | 消防署の立ち会いで年2回防災訓練を行っている。前は民生委員や近隣の方の協力を得て、夜間想定訓練を実施した。また、地域の災害訓練にも参加している。運営推進会議においてホームの働きかけで町内会長が防災訓練の案内を回覧板で廻してくれることになった。 | 今後はホーム敷地内に非常用飲料水や食料、備品等の備蓄を期待したい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 職員は入職時に守秘義務についての誓約書を提出している。また、外部研修、内部研修を重ねている | 職員は、利用者の個人的な話は人前ではしないようにしたり、居室の出入りは必ず声掛けをしてから行うなど、細心の注意を払って人格の尊重やプライバシーに配慮した態度で利用者に接している。個人情報に関する書類は事務室の施錠できるキャビネットで管理している。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | あくまでケアは提案であるという言葉かけをするように勉強会などで伝えている | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人が答えられやすいよう、いくつかの選択肢によって希望をお聞きしている | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 認知症の方が自分を表現する事が難しいという事も考慮しながら日頃の何気ない会話の中から好みなどを見極めて支援している | | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備から後片付けまで、それぞれの方々がそれぞれのかたちで参加していただいている | 献立は利用者の希望を聞きながら職員が作成している。利用者は一緒に食材の買出しに出掛たり、配膳や後片付けを行ったりしている。職員は食卓で同じものを食べながら、見守りや食事介助を行っている。また、近隣の方から頂いた新鮮な野菜を食卓に乗せたり、時には外食や出前を取り寄せたりして、食事を楽めるように取り計らっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 往診医による血液検査の結果を訪問看護師に伝え、同時に栄養や水分補給に関するアドバイスをもらっている | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 往診歯科を利用した時には必ず、その人にあった口腔ケアに関する指導を受け、歯磨きの時には入居者一人ひとりに付き添って支援している | | |
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 座位がとれる方はトイレでの排泄を促し、支援している | 職員は排泄チェック表からパターンを把握し、タイミングをみて声掛けや誘導を行って自立に向けた支援をしている。失敗したときにはトイレから直接浴室に行けるよう配置がされていて、清潔を保つ工夫をしている。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 薬だけに頼らず、腹部マッサージや温湿布などを行い、同時に水分や献立の調整も行っている | | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている | 入浴はアクティビティの大事な一環ととらえ、入居者の一日の流れを断ち切らないようにタイミングを合わせて行っている | ホームでは「入浴は安眠のための準備」という考えで毎日の入浴支援を行っている。また、入浴時間や温度は、個々の希望に応じており、風呂の湯は1人入浴するごとに交換している。入浴したがる利用者へは、間を置いて声かけするなど工夫をしている。浴室は介助するのに十分な広さがある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | お一人お一人の毎日の心身の状態を把握した上で、その日の状態を良く観察しながら離床や臥床を行っている | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 往診医から、薬の処方についての説明を受け、記録に残し、職員への周知をはかっている | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ご自身の役割や発揮どころを把握して他の入居者と交流しながら生活している様子がうかがえている | | |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ご本人の希望などをお聞きし、買物やドライブなどに出かけている | 朝の散歩や日光浴は安眠のための重要なアクティビティと考え、車椅子の方も一緒に毎日行っている。また、個別の希望によって地域の行事に参加したり、職員と一緒に車で買物に出かけている。花見や神社のお祭り、クリスマスのイルミネーション見物、初詣のドライブなど季節を感じながらの外出も楽しんでいる。 | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 買物の際には、支払いの場面を一緒に行っている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご友人と電話を楽しむ入居者もいらっしゃる | | |
| 52 | 19 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者お一人お一人が「ここにいてもいいんだ」という安心感をもっていただけのような環境づくりに配慮している（木のぬくもりのある空間） | リビングは窓が大きく明るく、木の温もりを感じる空間が広がっていて隣には畳の部屋がある。庭に面したウッドデッキで日光浴をする人、職員から編み物を教えてもらう人もいて、それぞれがお気に入りの場所で寛いでいる。非常口がユニット毎に2か所ある。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 気の合った入居者同士が居室を歩き来しながらお茶や編み物などを一緒にやっている | | |
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前の面接時に、ご本人やご家族へ、居室の環境づくりについて話し合い、仏壇やご自身の嗜好品などを持ち込んでいただいている | 居室には広いクローゼットが備え付けられていて収納に配慮されている。使い慣れたタンスや鏡台、テレビ、仏壇を持ち込み、家族の写真や絵手紙を飾り居心地良く過ごせる部屋造りをしている。居室の入り口には個性のあるネームプレートがかけられ、自分の部屋が識別できるように工夫している。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 認知症の見当識障害などにより、ご本人が不安にならないように、迷わないように、また家庭的雰囲気を壊さないような環境づくりに努めている | | |

| | |
|-------|-----|
| 事業所名 | |
| ユニット名 | 木の花 |

| アウトカム項目 | |
|---|----------------|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25) | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38) | 1, 毎日ある |
| | 2, 数日に1回程度ある |
| | 3. たまにある |
| | 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |

| | |
|--|----------------|
| 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19) | 1, ほぼ全ての家族と |
| | 2, 家族の2/3くらいと |
| | 3. 家族の1/3くらいと |
| | 4. ほとんどできていない |
| 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19) | 1, ほぼ毎日のように |
| | 2, 数日に1回程度ある |
| | 3. たまに |
| | 4. ほとんどない |
| 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | 1, 大いに増えている |
| | 2, 少しずつ増えている |
| | 3. あまり増えていない |
| | 4. 全くいない |
| 66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12) | 1, ほぼ全ての職員が |
| | 2, 職員の2/3くらいが |
| | 3. 職員の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |
| 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | 4. ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | しんばしの子の理念を入職時に確認してもらい、全職員共有のものにしている。 | | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会に加入し、地域の行事や交流事業に参加している。学生の実習や地域の方の訪問を積極的に受け入れ交流を図っている。 | | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の会議や運営推進会議を通して、認知症の方の障害や支援方法についてお伝えしている。 | | |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 3ヶ月毎に運営推進会議を開催し、ご家族、地域、包括支援センター、区役所の方へ出席していただいている。活動報告や情報交換を行い、ホームの運営に活かしている。 | | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議等を通して、ホームの状況や問題点を報告し、区の担当者からアドバイスをいただいている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>研修内容を勉強会でフィードバックさせる等、正しい知識を身につけ、拘束をしないケアに取り組んでいる。現在、家族の希望により一時的に玄関の施錠を行っているが、今後もホームの方針と取り組みについて理解を得られるよう、話し合いをしていく予定である。</p> | | |
| 7 | | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>研修内容を勉強会でフィードバックさせる等、正しい知識を身につけ、虐待だけでなく、日頃から不適切なケアが行われていないかを振り返り、職員共通の意識を持つよう努めている。</p> | | |
| 8 | | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>研修や勉強会で学び、関係者からの相談に応じている。</p> | | |
| 9 | | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約時、よくある質問に対しては具体的な例を挙げながら説明している。又、家族会等で改定の説明をする等、理解を図っている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> | <p>日頃の会話から意見や要望をお聞きするよう心掛けている</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| | | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | が、職員に直接言いにくい事は、意見箱や相談窓口を利用していただけよう、契約時に説明している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 代表者、管理者は日々の交流や勉強会の中で、一人ひとりが意見・提案出来るよう問いかけ、業務・運営に反映させている。 | | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 一人ひとりの経験、実績、目標を見極め、研修等バックアップしてくれている。又、1年に1度自己チェック（上司、代表者チェック）を行い、各自の実績把握と評価に努めている。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 一人ひとりの経験、実績、目標を見極め、研修等バックアップしてくれている。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 研修や連絡会等、外部の事業所との交流の場へ参加を促している。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご本人の要望や不安について傾聴し、職員で情報を共有するよう努めている。又、サービス開始間もない頃には、個別に対応する時間を長めに持つよう心掛けている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>入居前の面談や訪問時に、要望や不安についてお聞きするよう心掛けている。又、職員からも相談させていただきながら、信頼関係を築けるよう努めている。</p> | | |
| 17 | | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>希望や状況等を見極め、他のサービス利用も視野に入れ検討するよう努めている。</p> | | |
| 18 | | <p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>職員が支援するばかりでなく、ご利用者が職員を。又、ご利用者同士が支え合える関係を大切にしている。</p> | | |
| 19 | | <p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>ご家族には日頃の支援にご協力いただいたり、職員が困っていること、判断に迷うことにアドバイスをいただく等、共にご利用者を支えていく関係を築いている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>ご家族との面会、外出、外泊に制限は設けておらず、ご友人やご親族の方にもいつでも来て頂けるようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ご利用者同士の状況や関係性を見極め、レクのコーディネートや席替えを行っている。またお誕生日にはご利用者様にメッセージを記入していただく等、皆でお祝いをしている。 | | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後もご家族からの相談に応じている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々の会話や言動等から、ご本人のホームでの暮らしに対する希望や意向を汲み取るよう努めている。 | | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族に差障りのない範囲で生活歴を記入していただいている。また入居後も面会時に、ご本人の趣味や生活ぶりをお聞きしている。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一日の過ごし方や、活動内容を個人記録に記録し職員で情報を共有している。又、訪問看護師や往診医と連携し、心身状態の把握に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>介護計画作成の際、ご本人やご家族の意見を尊重している。アセスメントやモニタリング時には職員や往診医、看護師の意見も取り入れ、介護計画に反映させるようにしている。</p> | | |
| 27 | | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>個々の情報は個人記録を通して職員全員が共有している。ケアにより、ご利用者に良い結果が出たものについては介護計画に取り入れるようにしている。</p> | | |
| 28 | | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>理美容については外部の美容院、訪問美容院等、それぞれの要望に応じている。他、地域のクリーニング等。</p> | | |
| 29 | | <p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>地域の交流活動、敬老の集い、コンサート等、地域行事に積極的に参加している。又、パトロール活動を行い、地域貢献にも取り組んでいる。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>受診に関しては、ご家族に相談し、希望をお聞きしている。協力病院以外でかかりつけ医を希望される場合は希望に応じている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | 訪問看護師と連絡を取り合い、情報の共有と、相談、アドバイスを受けている。夜間でも指示を受けられる体制になっている。 | | |
| 32 | | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | 退院前に、病院関係者、ご家族、訪問看護師と面談を行う等、入院中の様子や状態を確認しながら、早期退院に向けての体制作りにも努めている。 | | |
| 33 | 12 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | 看取りについては「看取りに関する指針」に基づき対応している。又、重度化した場合は、ご家族、医師、訪問看護師との話し合いの場をもち、今後の方向性を決めている。 | | |
| 34 | | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | 職員は、救急に関する研修に積極的に参加している。消防訓練時には、人工呼吸や心臓マッサージの指導を受けた。又マニュアルを貼り出し、急変時や事故に対応出来るようにしている。 | | |
| 35 | 13 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | 年に2回、日中、夜間を想定した避難訓練を実施している。地域の訓練にも参加している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 敬意を持って対応するよう心がけ、プライバシーに関する事を話す時には周囲に配慮している。今後は職員同士がお互い改善し合える関係を築いていきたい。 | | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご本人の希望を聞き取れるような問いかけをしたり、それが困難な方には、その方がどのような選択をするかを考えながら支援している。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご利用者の希望や状態を確認し、何を優先すべきかを判断しながら、臨機応変に対応している。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | その方らしさを引き出せるよう、ヘアスタイルや服装、持ち物等、ご利用者の希望されるスタイルを取り入れるようにしている。 | | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | ご利用者の状態を見極めながら、準備(見学)から片付けまで参加していただいている。又、安心して楽しみながら食事していただけるよう、食事の形状や座席の位置関係に配慮している | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>食事の時間だけに囚われず、食べたい時に食べられるよう支援している。医師に相談し、水分チェックを行ったり、形状を変える等、一人ひとりに合わせた対応している。</p> | | |
| 42 | | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>毎食後口腔ケアの声かけを行い、最後に職員が口内を確認するようにしている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p> | <p>一人ひとりの排泄パターン、タイミング、合図を見極め、排泄誘導を行っている。排泄記録を記入している。</p> | | |
| 44 | | <p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>排泄記録を確認しながら、便秘に効果的な飲食物を取り入れたり、体操、腹部マッサージを行う等工夫している。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>毎日入浴出来るようにしている。希望の時間や温度等、出来るだけご利用者の好み合わせ対応している。入浴がお好きでない方に対しては、タイミングをみてお誘いしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | 音、光、温度、スペース等に配慮し支援している。居室だけでなく、共有スペースでも休んでいただけるよう、寝具を用意している。 | | |
| 47 | | <p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | いつでも薬の確認が出来るよう、薬の説明書は個人記録にファイルングし、薬の変更や医師からの指示を記録に残している。 | | |
| 48 | | <p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | 日頃の会話から希望を聞き取り、実現出来るよう支援している。又、一人ひとりの力を見極め、自信が持てたり楽しめるような活動の提案をしている。 | | |
| 49 | 18 | <p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | 希望に応じて、散歩や買い物、地域の行事に出かけている。また、ご家族の協力で、外出や外泊をされるケースもある。 | | |
| 50 | | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | ご本人の所持については、ご本人の希望や力を考慮し、ご家族と相談しながら決めている。お買い物の際には、支払いの場面を一緒に行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>家族や知人等、希望に応じて電話を利用していただいているが、ご本人の状態や相手先の影響にも配慮するようにしている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>どのように置けば安全で混乱がないか考慮しながら、家庭的な空間に季節の花や置物等を取り入れるようにしている。</p> | | |
| 53 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い通りに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>中央にリビングルームと畳スペース、また人目の少ない場所にベンチを設置し、自由に過ごしていただいている。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>ベッドや家具、小物や家族の写真等、使い慣れた物やご希望の物ををお持ちいただき、以前の生活が感じられ居心地よい環境作りをしている。</p> | | |
| 55 | | <p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>家庭的な雰囲気の中、場所によっては手すりや介護用具を使い、自立した生活が送れるよう、環境を整えている。</p> | | |